

71期生 進路だより No. 6

『やる気 根気 元気』

みんな、ちゃんとアンテナを張っていれば見えるものを、見ていないんだ。

勉強しない奴は、冒険を恐れる。

松田優作(俳優 松田龍平・翔太の父)

この1年、本気で勉強を！

「本気で勉強を！」と言われても君たちは「え～、中間テストも終わって少したったところなのに…」って気持ちになるでしょう。

「入試があるから、仕方がないなあ」って思う人が大半かもしれません。確かに入試は大事なことです。でも、勉強って何だろう？なぜ勉強しなくてはならないのか？なぜ君達は学校に来るのでしょうか？

小学校を卒業したら中学に入学できた。中2から中3には自動的になれた。でも来年の春は全てが「自動的」には決まりません。だから勉強して、進学しなくてはなりません。就職する場合でも、中学の勉強は最低限必要です。それは確かに真実です。進路のことを考えたら、勉強しなくてはならないのは一目瞭然です。

でも、先生や保護者の方から「中3は進路があるから勉強しなくてはならない」。そう言われてもおそらくは、すんなりとは納得できないと思います。

まず、君たち71期生に知っておいてほしいことは、勉強すると人生を楽しみ、豊かに過ごすことができるということです。

勉強すると、自分の行きたい高校や大学に行くことができる。自分がやりたいなと思っている職業に就ける。つまり勉強すると自分が本当にしたいことができるようになる。

でも、自分が本当にしたい事ってなんだろう？ここが大事なことです。実は勉強の目的はここにあるのです。

中学校、高校での勉強の目的は、自分にとって本当にやりたいことを見つけ出すことです。

でも本当にやりたいことを見つけることは大変なことです。一生かかっても見つけられない人だってたくさんいます。でも、見つけることができると生きていくことが一気に楽しくなります。目的・目標ができるから苦勞が苦勞でなくなります。「本当にやりたいこと」を見つけると、そのことを中心に人生が回り始めます。そして「本当にしたいこと」を見つけ、それに集中できたときに、人は偉大な功績を残すことができます。つまり、「自分にとって本当にやりたいこと」を見つけ出した人は、そのことをやり抜くことによって社会の役にたつことができるのです。

自分が「本当にやりたいことをやること」によって、同時に社会に貢献できる。このことこそが生きることの最大の喜びだといえるでしょう。

学校では国・社・数・理・音・美・技家・体育・英といろんな教科を学びます。それから、行事や部活、生徒会・各委員会などいろいろな活動があります。こうした教科や学校行事を通して、世界(社会)の仕組みや成り立ちを勉強し、自分の本当にやりたいことを見つけしていくのです。

でも、学校での勉強をいい加減にしていると、本当に自分がやりたいことがうまく見つけることができず、言い換えると、うまく進路を見つけないことになってしまいます。しっかりと勉強して、自分が本当にやりたいことを見つけ出すこと、これが学校での勉強の最大の目的だと思います。

来年の3月に君たちの義務教育は終わります。進学するか就職するかを、つまり中学を卒業したらどうするかは自分で決めなくてははいけません。その時に、自信と責任を持って決めて欲しい。なぜなら、自分の人生の決断だからです。「進路は自分の希望と責任で決める」これが大切なことです。進学したくない人は進学してはいけません。進学するのなら、それだけの努力をしなければいけません。高校進学を目指す人にとっては中3とは、高校での勉強の土台をつくる時です。

高校進学を希望しないのであれば、中3では社会での進路を決める1年になります。「自分のやりたいこと」をこの1年間で見つけなければなりません。これは本当に難しいことです。就職を考えている人は、このことを自覚しておいてください。

とにかく、進学するにしても就職するにしても、これからの人生を意義のあるものにしていくために、本気で勉強していかなければなりません。勉強することによって、人生は意義のあるものになるのです。

そして、勉強とは教科の勉強だけでなく、学級の活動、生徒会・委員会活動、部活、清掃、いろいろな行事など学校生活の全般にわたることを忘れないでください。

There is nothing more frightful than ignorance in action.

Johann Wolfgang von Goethe

無知のまま行動することほど、恐ろしいことはない。

ゲーテ